

性能面・経済合理性の比較結果

令和8年3月31日

1. 性能面・経済合理性の比較結果

以下のとおり、性能面・経済合理性等を比較した結果、対象システムについては、ガバメントクラウド以外へのクラウド環境に構築されるシステムに移行することとする。なお、今後も継続的にモニタリングを行うものとする。

2. 対象標準準拠システム

システム名	取り扱う標準化対象事務
総合行政情報システム	住民記録、選挙人名簿管理、固定資産税、個人住民税、法人住民税、軽自動車税、就学、国民年金、国民健康保険、後期高齢者医療、印鑑登録
選挙システム	選挙人名簿管理
健康管理システム	健康管理
戸籍総合システム	戸籍、戸籍附票

3. 性能面比較表

		ガバメントクラウド (AWS)	プライベートクラウド
性能面	非機能要件への適合	○	○
	データセンターの物理的所在地	日本	日本
	情報資産の国外持出制限の有無	有	有
	ガバメントクラウドとのデータ連携の可否	—	○
	裁判管轄が国内で契約が日本法に基づくもの	○	○

4. 経済合理性比較表

移行時の経費（イニシャルコスト） 単位：%	89.40%
移行後5年間の経費（ランニングコスト） 単位：%	71.62%

ガバメントクラウドの経費を100%として、プライベートクラウドの経費の割合を表示
為替レートは1ドル=155円として算出